

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計画の概要	計画の名称	栃木県農業生産基盤整備計画 (R2(2020))
	計画策定主体	栃木県
	対象市町村	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、芳賀郡市貝町、芳賀郡芳賀町、下都賀郡野木町、塩谷郡塩谷町、塩谷郡高根沢町、那須郡那須町、那須郡那珂川町 [20市町]
	計画期間	令和2(2020)～令和6(2024)年度
	計画の目標	成長産業として発展する農業の実現に向けて、農地や農業水利施設などの農業生産基盤を整備保全するとともに、農村地域を支え発展させるため、農村における生活環境の向上を図り、新たな魅力と価値を創造する、「進化する農業・栃木」を推進します。
	評価指標	<p>《「進化する農業・栃木」の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上と経営の安定化を図るため、農業生産の基盤である農地等の整備を契機とし、地域ぐるみでの話し合いを促進し、地域の中心となる担い手へ24haの農地集積の増加を図る。(農地集積 137ha→161ha)</li> <li>排水機場の老朽化や降雨の増加等に伴う、農地等の湛水被害を改善し、食料の安定供給可能な農地220haを確保する。(食料の安定供給可能な農地 0ha→220ha)</li> <li>畜産農家における飼養管理の省力化・低コスト化により経営規模拡大を図るため、公共牧場等の草地改良整備を行い、乳用牛及び肉用牛合わせて1,413頭の飼養頭数の増加を図る。(飼養頭数 5,101頭→6,514頭)</li> <li>農村生活環境の向上・維持を図るため、農業集落排水施設の整備・改築及び機能保全を行い、3,242戸の生活排水等を安定的に、効率良く処理を図る。(受益戸数 0戸→3,242戸)</li> <li>中山間地域等における地域特性を活かした農業と農村づくりの促進を図るため、農業用排水施設や農道等の農業生産基盤と農村生活環境を総合的に整備し、428haの優良農地を確保する。(優良農地 607ha→1,035ha)</li> <li>土地改良施設等の維持管理費の節減及び二酸化炭素の排出軽減を図るため、農業水利施設を利用した小水力発電施設を整備し、二酸化炭素排出量を96(t/年)軽減する。(CO2排出軽減量 0t/年→96t/年)</li> </ul>
	対象事業	農地整備(経営体育成型):6地区、農地整備(草地整備型):1地区、農地整備(畜産担い手総合整備型):3地区、水利施設整備(基幹水利施設整備型):1地区、水利施設整備(畑地帯担い手育成型):1地区、農村整備(農業集落排水事業):5地区、農村整備(集落基盤再編型):2地区、農村整備(中山間地域総合整備型):2地区
	関連事業	
全体事業費	5,188,185千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	栃木県農業振興計画(とちぎ農業“進化”躍動プラン)や栃木県農業農村整備推進計画(とちぎ水土里づくりプランⅢ)における農業農村の目指す方向と整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域農業の持続のため、本県農業の発展に寄与する目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	目標の達成に向けた指標の構成となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事後評価時において、定量的に確認できる指標となっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	対象事業の実施により発現される成果に基づいた指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	地元の推進体制が整備されており、かつ関係市町村の支援体制も整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元の合意形成は図られており、速やかな整備が望まれている。
評価結果	<p>評価 I 事業を実施</p> <p>評価 II 計画の見直し</p>		<p>[評価基準]</p> <p>「評価 I」は全項目に○印がついている</p> <p>「評価 II」は1項目でも×印がついている</p>